

豚ぶん堆肥施用によるカンショ（べにはるか）の高収量高品質栽培技術の確立・普及

鹿行農林事務所経営・普及部門

カンショの栽培が盛んな銚田市では、カンショの連作による地力の低下が収量・品質低下の一因となっています。そこで、普及センターでは、管内でも多く栽培されている「べにはるか」の連作畑に、豚ぶん堆肥を3年間連用することにより、収量・品質が向上することを確認しました。また、管内の養豚農家と連携して「銚田市豚ぶん堆肥生産者リスト」を作成し、堆肥の供給体制を整備したことで堆肥の利用者が増加しました。

堆肥の連用による収量・品質の向上

カンショの収量・品質向上には、腐植含量を高めること、畑の物理性を改善することが重要です。そこで、腐植の基となる有機物（豚ぶん堆肥）を「べにはるか」の連作畑に施用した結果、収量・品質の向上に有効であることがわかりました。特に、堆肥を2年連用することでカンショの品質が向上（A品収量25.9%増）、3年連用で収量が向上（上いも重6.9%増）することを確認しました（図1）。

また、土壌診断の結果から、堆肥を施用した区では土壌の腐植含量が増加することがわかりました。

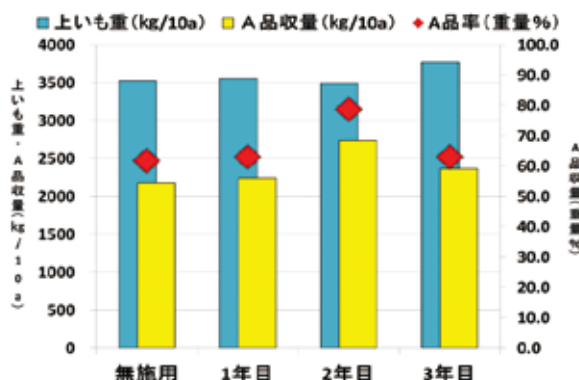


図1 豚ぶん堆肥の連用が「べにはるか」の収量及び品質に及ぼす影響

堆肥の供給体制を整備

良質な豚ぶん堆肥の安定的な供給元を確保するため、銚田市養豚組合（43戸）に対して、「堆肥生産・供給アンケート」を実施しました。令和元年度は8戸の養豚農家から協力を得られ、カンショ生産者向けの「銚田市豚ぶん堆肥生産者リスト」を作成しました（表1）。また、情報交換会（写真1）に参加したカンショ農家へのアンケートから、新たに4戸が土づくりや連作障害防止のために、リストを実際に活用して堆肥を施用したことがわかりました。

No	氏名	住所・電話番号	堆肥流通量 (年間)	副資材	堆積期間	配達
5	E養豚場	銚田市□□-□ 0291-00-0000	200t	モミガラ、 オガクズ	3ヶ月	有
6	F養豚場	銚田市■-■ 0291-00-0000	約150t	オガクズ	3ヶ月	有
7	G養豚場	銚田市◇◇-◇ 0291-00-0000	3,000t	モミガラ	3ヶ月	有
8	H養豚場	銚田市◆◆-◆ 0291-00-0000	100t	モミガラ	6か月以上	有

表1 銚田市豚ぶん堆肥生産者リスト（抜粋）

組織横断的な情報交換会を開催

管内のカンショ生産者を対象に、「銚田地域カンショ情報交換会」を開催しました。情報交換会では普及センターで取り組んだ試験結果と併せて、カンショ栽培における土づくりや堆肥利用の注意点について説明しました。その結果、これまでに有機物を活用したことがない6戸から、今後、有機物を利用したいとの希望があり、土づくりの重要性について理解を深めることができました。



写真1 「銚田地域カンショ情報交換会」の様子